

【様式2】

学校関係者評価書

学校名 佐賀県立神埼高等学校

1 学校関係者評価実施状況

(1) 学校関係者評価実施日 令和8年2月19日(木)

(2) 資料(評価の参考とした資料)

令和7年度神埼高等学校評価計画及び最終評価(案)

2 評価

(1) 目標の妥当性及び達成状況

- ・目標は概ね妥当であり、概ね達成されている項目が多い。
- ・各項目に目標が多いので、来年度は整理した方がよい。

(2) 学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・学校の取組は適切である。
- ・妥当な自己評価結果が多いが、アンケートが評価の指針になっている項目については、主観的にならないよう問い方を再考を。

(3) 改善方策の適切さ

- ・改善方策については概ね妥当である。

3 その他学校に対する意見や提言

(1) 学校評価について

- ・達成度(A・B等)の基準を明確にした方がよい。
- ・数値目標が県の指定(目標の●は県の指定)で変更できないため、学校独自の取り組み目標(○)を挙げてみてはどうか。
- ・主体的な学びの項目は、謙虚な人ほど「できた」としづらい。質問の仕方を変えるか、ここが出来ていたら「できた」という評価をしていいという指標を示すとよい。
- ・働き方改革(年休取得)については県設定の目標が現実と乖離しているのではないか。
- ・評価を前年度(過去)との比較にした方が分かりやすい。

(2) 「こども教育進学コース」について

- ・普通科内に新設の「こども教育進学コース」について、そもそもコース設定の目標は、ニーズがあつての設定なのか。
- 佐賀県の取り組み。神埼市には幼保小から大学まですべての校種があり、神埼市からもサポートを得やすい。倍率が下がっているので、この普通科改革を“チャンス”にしたい。

- ・新しくコースを設立して幼稚園、小学校の先生を目指すとなったとき、大学で教育実習に行って初めてミスマッチに気づくことがある。学びの時間で授業をするなどの取組みで早期の体験、「教える難しさ」の実感ができるのではないか。

→できるだけ多くの体験実習を入れようと計画している。

- ・私立高校の無償化に伴い競争の激化が予測される。いかにこども教育進学コースの特色を出していくかが大切になる。他校との差別化を考えてほしい。

→神埼でできることは何かを考えて動いている。教員や生徒にも来年度に期待が高まっている者が多い。

(3) その他

- ・「自主的にボランティア活動に参加」とあるが、先生から案内で参加しているのか、自分たちから見つけに行っているのか。

→学校に案内が来たものを紹介し、それに参加している状況。

- ・高校生のボランティア参加が増えて、地域からも依頼しようという雰囲気醸成されてきている。

- ・高校側の窓口が明確になったので、依頼しやすくなった。

- ・部活動で優秀な生徒が集まって底上げができているが、寮母さんのいる寮がないと私立に生徒が流れてしまう。部活動の顧問が個人的に取り組んでいるのが現状。SSPの補助の余りを生かすという手があるのではないか。部活動の充実も特色づくりにつながる。せっかく積み上げてきたものが無駄になってしまうので、早急に対策をした方がいい。

→県の予算を待っていたら早い対応は難しい。